



芝生から学び、芝生を守る教育活動

～カリキュラム・マネジメントで実践する「芝生学」～

PROFILE

新島村立式根島中学校 (主幹教諭 中里直)

式根島は、東京から南西約160kmに位置する伊豆諸島の島である。本校は隣接する式根島小学校と小中一貫教育校「式根島学園」として平成30年度に開園した。極少人数・小規模校という特性を利点にし、自然豊かな島で特色ある9年間の教育活動を推進し、教育目標「ふるさと式根島を愛し、心身ともにたくましい子供」の具現化を目指している。よき伝統を継承しつつ、「いつも子供たちの声が聞こえる学校」を目標としている。



1 学校の誇りである校庭芝生

校庭の芝生は、1981年、寄贈された芝を校舎前に植えたことから始まりました。その芝を少しずつ伸ばしていき、長い歳月を経て校庭全面が芝生になりました。生徒が1年中安全に使用できる校庭ができ、保育園や小学校の教育活動、島の運動会や社会体育などの島全体の活動の場として利用されています。美しい芝生は島民に愛され、多くの人々が訪れる場所ですが、今後も継続して維持・管理することが課題でした。そこで、特色ある教育活動として、教科等の学習で生徒が継続的に芝生に関わり、その活動を様々な形で発信することで、生徒や校外の方々が芝生の価値や意義を再認識でき、維持・管理の意欲が高まると考えました。



「環境整備」の時間に行った芝刈り機の講習会



「ペットボトル芝生プロジェクト」で芝生を増やす

そこで、カリキュラム・マネジメントによる教科横断的な学習方法で、関連する具体的な学習内容を「芝生学」として教科等に位置付けて実施しました。令和2年度は「第20回ちゅうでん教育振興助成」の助成金を活用して実践しました。



生徒が裸足で参加する「芝生ヨガ」授業

2 「芝生学」の実践

校内清掃の一環として、毎週「環境整備」の時間を設け、全生徒と教員が共に校庭芝生の野草除去や清掃等を実施しています。生徒は2つのグループに分かれ、毎回テーマを決めて活動を行い、活動後、グループで反省会を行い、次の活動につなげています。環境整備の時間には、芝刈り機の使用法や野草除去方法の講習会、芝生で見られる生物や野草の紹介、校庭のコンクリート部分等にはみ出して伸びた芝を切って芝の苗を作り、芝生が無くなったところに植える「ペットボトル芝生プロジェクト」等を行っています。また、ボランティア活動として校庭及び学校周辺の美化活動を行っています。

教科の取組として、保健体育では、校庭で陸上競技、サッカー等の球技やダンスの授業と運動会の練習を行っています。また、生徒が裸足で参加する「芝生ヨガ」という授業を実施し、ヨガの体験を通じてリラックス効果や柔軟性が向上しました。理科では、校庭の芝生に生息するアリの巣により芝生に穴ができる被害があり、外来種の侵入防止等の芝生生態系維持のため、芝生とアリの共存を模索していました。1、2年生が協力して校庭のアリの分布調査を行い、新島村の気象データと比較し、アリの種類と巣穴の密度を調査しました。その結果、巣穴の分布及び密度の季節変化から軟弱な芝生面を推測する手がかりを得ることができました。数学では、1年生が方程式の学習で一定面積の校庭の芝本数を数え、自分で校庭の全芝本数を求める方法を考えました。



一部の芝から校庭全芝本数を求める学習

技術分野では栽培の学習のために学校農園をつくり、芝の刈り草の堆肥を使用した土を使用しています。生徒は堆肥の意義を学習し、アメリカ芋や大根の栽培を行いました。2年生の「特別の教科 道徳」の時間に夢や希望について芝生の上で考える授業を行いました。生徒は広い芝生の上での開放感から積極的に話し合うことができました。



広い芝生の真ん中で話し合う「芝生道徳」

3 地域とともに学ぶ「芝生学」

図書室に芝生関連書籍を置いた「芝生コーナー」を設けたことで、芝生への生徒の関心が高まり、美化活動の推進に役立っています。「芝生学」に関する取組の成果は、中学校の学習発表会において発表しました。また、生徒の活動の様子は、学年だよりや学校だより等で広く校外に発信しました。日頃より、芝の刈り草を積極的に地域の農家へ肥料として提供したり、地域の方々から定期的に芝生の野草除去等で協力していただいたりしています。今後も地域とつながりながら積極的に校外に発信し、効率的な芝生管理を通じて生徒が学習できる「芝生学」を見いだしていきたいと考えています。

引用・参考文献

- ・都市緑化機構グランドカバー・ガーデニング共同研究会(2013)『知っておきたい校庭芝生化のQ&A』鹿島出版会
- ・東京七島新聞(2021)『式根島中学校で「芝生学」』4月28日